

秋

里

款

あきたひかなくも
きくひとなくも
ただおのれ
ひとりのみちを
かなたこなたへ

秋田悲歌

昭和四十五年二月十日発行

著者 © 万足 卓

秋田市手形田中一四一五二

発行者 三浦敬一

印刷者

大日本印刷
仙台営業所

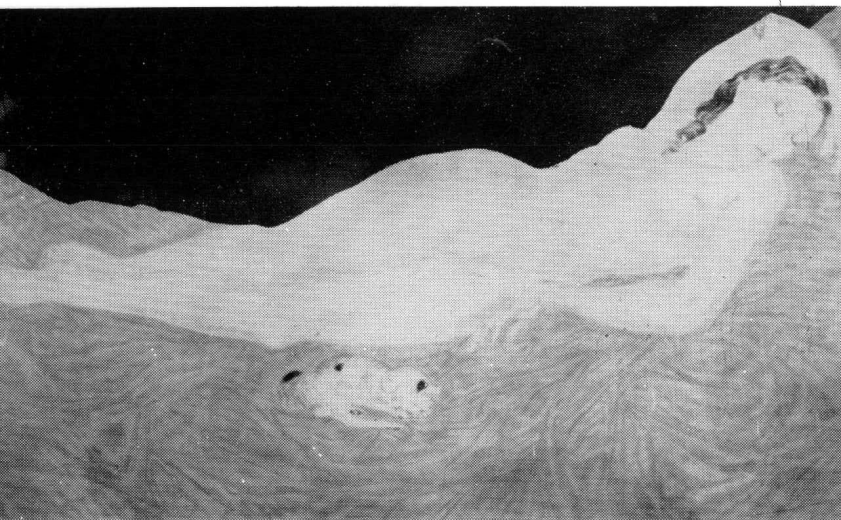
発行所 株式会社 三浦書店

秋田市中通二丁目一番五号
電話代表 33 八一三一
振替秋田 一一八八

万
足
卓

秋
田
悲
歌

三
浦
書
店
刊



眠れる女

藤田 嗣 治

秋
田
悲
歌

目
次
(四十八段)

自序……………一一

みちのくのうた……………一五

男鹿のうた……………一八

なまはげのうた……………二一

岩館のうた……………二三

おぼこのうた……………二五

象潟のうた……………二八

ふくべのうた……………三〇

黒百合のうた……………三二

角館のうた……………三四

きみまち阪のうた……………三六

藤里のうた……………三八

べこのうた……………四〇

八幡平のうた	四二
田沢のうた	五一
八郎のうた	五三
日景のうた	五六
露のうた	五八
しょつづるのうた	六〇
竿灯のうた	六二
たなばたのうた	六四
真澄のうた	六六
西馬音内のうた	六八
阿久利子のうた	七三
千草のうた	七四
阿仁のうた	八四
小又のうた	八六

笑内のうた	八八
飛島のうた	九二
十和田のうた	九六
木地山のうた	九八
小安のうた	一〇一
夏瀬のうた	一〇三
抱返りのうた	一〇六
ちかのうた	一〇八
きりたんぽのうた	一〇九
太平山のうた	一一一
はたはたのうた	一一三
ごてんまりのうた	一一六
お杉わらべのうた	一一七
錦木のうた	一一九

雄物川のうた	一二三
こだすこのうた	一二四
綱引きのうた	一二六
能因のうた	一二九
雪女のうた	一三二
かまくらのうた	一三九
檜山のうた	一四一
歌のうた	一四三
あとがき	一四五

自序

うつくしき秋田の星と
雪にわがうそぶきしこと

風に託して

昭和四十四年の秋

万
足

卓

秋
田
悲
歌

みちのくのうた

一

都をば霞とともに立ちしかど

翌くれば秋田みぞれふりをり

二

みぞれふるみちのくの空ひくくして

足につめたしみちのくの土

三

ひくき空ささへかねてか黒き松

みなかたむけるみちのくの町